

公益財団法人日本バスケットボール協会
平成26年度 第5回理事会 議事録

日 時：平成26年7月9日(水) 12:30～14:30

場 所：味の素ナショナルトレーニングセンター 大研修室

出 席：<理事>

深津泰彦会長、丸尾充、梅野哲雄、西川和人の各副会長、星芳樹専務理事、青木隆、河内敏光、岸本和巳、熊谷秀樹、小坂悦夫、佐々木三男、鮫島俊秀、品田奥義、庄司義明、高橋雅弘、塚田博己、西井歳晴、野村俊郎、橋本信雄、林直樹、福井晴次、堀井幹也、森野和泰、吉田長寿の各理事

<監事>

榊原みどり、高原洋太郎の各監事

<特任委員>

片山正明、坂本昌彦の各特任委員

欠 席：倉石平、原田茂、吉田利治の各理事、内山英司、小倉恭志の各特任委員

議 題

- (1) 名誉会長および参与の推薦について
- (2) 審判審査委員会委員長の選任について
- (3) 裁定委員会委員の選任について
- (4) 評議員選定委員会の委員の選任について
- (5) 組織変更に伴う規程の改定について
- (6) 特別委員会の設置について
- (7) ウィリアム・ジョーンズカップ 男子日本代表チームについて
- (8) 男子U-18/FIBA ASIA選手権大会日本代表チームについて
- (9) 男子U-18/日韓中 日本代表チームについて
- (10) 女子U-18/日韓中 日本代表チームについて
- (11) 大会要項について
- (12) 平成26年度組織振興費の支払いについて
- (13) 評議員候補者の推薦について

1. 定足数の報告

塚田理事より出席者数の報告があり、定款32条に基づき、理事現在数(27名)の過半数の出席数(出席:24名)を満たすため、会議成立が宣せられた。

2. 挨拶

深津会長より開会の挨拶があった。

3. 議事

議長は深津会長が務めた。

(1) 名誉会長および参与の推薦について（塚田理事）

役員改選に伴い、退任された理事、監事、特任委員の処遇について、麻生太郎前会長を名誉会長に、伊藤信明前理事、大神訓章前理事、大山妙子前理事、佐古賢一前理事、鈴木秀太前理事、田窪徹前理事、樋口隆之前専務理事、水谷豊前理事、松岡憲四郎前監事、山崎均前監事および上島正光前特任委員を参与に推薦することが提案され、承認された。尚、定款第28条に基づき、顧問および参与の推薦には理事会および評議員の推薦が必要となるが、6月21日に開催された定時評議員会にて、退任役員の参与職等への推薦については理事会に一任することが承認されているため、本理事会での推薦をもって会長が顧問および参与への委嘱を行うことが確認された。

<承認>

(2) 審判審査委員会委員長の選任について（塚田理事）

調整中となっていた任期満了による審判審査委員会の委員長について、前委員長の田窪徹氏を推薦することが提案され、原案通り承認された。

<承認>

(3) 裁定委員会委員の選任について（塚田理事）

裁定委員会の委員の任期は2年となっているが、前任者の任期が2013年3月から2014年6月の評議員会終了時までとなっていたことから、前回理事会で承認された交代の1名を除き、2名の委員を再任することが提案され、原案通り承認された。

<承認>

(4) 評議員選定委員会の委員の選任について（塚田理事）

任期満了に伴う評議員選定委員会の委員について、規程に基づき、齋藤徳也氏（評議員）、高原洋太郎氏（監事）、長谷川洸世氏（事務局員）、金井克仁氏（外部委員）、望月浩一郎氏（外部委員）の5名の推薦が提案され、原案通り承認された。

また、委員の推薦方法等規定化されていないところについては、今後検討を行うこととした。

<承認>

(5) 組織変更に伴う規程の改定について（塚田理事）

委員会組織の一部改編に伴い、「基本規程」、「公認コーチライセンス制度」および「コーチ登録規程」の一部改定が提案され、原案通り承認された。尚、基本規程については評議員会の承認が必要なことから、次回評議員会に提案することが確認された。

<承認>

(6) 特別委員会の設置について（吉田(長)理事）

地域との連携強化を図り、普及・育成・強化など各事業のさらなる推進を図るため、特別委員会として「地域強化対策検討委員会」を設置することおよびそのメンバー構成と活動内容、また、ウインターカップの選手権

大会化に向けて、さらなる価値向上や選手育成を検討するため「ウインターカップ選手権化推進委員会」を設置することおよびそのメンバー構成等活動内容が提案され、原案通り承認された。

また、関連して国際競技スケジュールと国内競技スケジュールの問題についての具体的検討を強化戦略委員会において行うこととした。

<承認>

(7) **ウィリアム・ジョーンズカップ 男子日本代表チームについて**（堀井理事）

2014年8月9日～17日にチャイニーズ・タイペイで開催される「第36回ウィリアム・ジョーンズカップ」に出場する男子日本代表チームについて、7月に開催されるFIBA ASIAカップ等の状況を見て選手選考を行うため、理事会開催スケジュールの関係上、選手選考を常務理事会に一任することが提案され、承認された。

<承認>

(8) **男子U-18/FIBA ASIA U-18男子選手権大会日本代表チームについて**（堀井理事）

2014年8月19日～28日にカタールで開催される「第23回FIBA ASIA U-18男子選手権大会」に出場するU-18日本代表チームの選手12名およびスタッフが提案され、原案通り承認された。

<承認>

(9) **男子U-18/日・韓・中ジュニア交流競技会 日本代表チームについて**（堀井理事）

2014年8月19日～28日に岩手県で開催される「第22回日・韓・中ジュニア交流競技会」に出場するU-18日本代表チームの選手12名およびスタッフが提案され、原案通り承認された。

<承認>

(10) **女子U-18/日・韓・中ジュニア交流競技会 日本代表チームについて**（高橋理事）

2014年8月19日～28日に岩手県で開催される「第22回日・韓・中ジュニア交流競技会」に出場するU-18日本代表チームについて、インターハイも含めて選手選考を行うため、理事会開催スケジュールの関係上、選手選考を常務理事会に一任することが提案され、承認された。

<承認>

(11) **大会要項について**（庄司理事）

「第45回全国高等学校選抜優勝大会(ウインターカップ)」、「第90回天皇杯・第81回皇后杯 全日本総合選手権大会(オールジャパン)」および「第10回全日本社会人選手権大会」の大会要項および予算が提案され、オールジャパンはチーム人数、参加チームの推薦枠、強化奨励金等一部変更があること等が補足された。尚、オールジャパンのエントリー選手数については、予選実施各団体の最大人数にあわせて16名に修正することとし、承認された。

<承認>

(12) **平成26年度組織振興費の支払いについて**（塚田理事）

今年度予算に基づき、都道府県協会振興費、連盟振興費、ブロック振興費の支払いについて提案され、原案通り承認された。

尚、今年度予算提案時にも説明し、承認されている通り、高体連専門部への支払いについては、全国高体

連の公益法人化に伴う財務上の関係から、日本協会と高体連専門部と協議の上、当面は内部留保にて運営していただくことになっていることが補足された。

<承認>

(13) 評議員候補者の推薦について（塚田理事）

役員改選に伴う評議員の辞任により、北海道協会から新たに推薦された片桐省三氏、香川県協会から推薦された山田司氏および鹿児島県協会から新たに推薦された木佐貫和昭氏を評議員候補者として評議員選定委員会に推薦することが提案され、承認された。

<承認>

4. 報告事項

(1) 一般報告

2014年6月の諸会議等の開催実績が報告された。

(2) 総務部（塚田理事）

次回理事会は9月10日の開催となること、日本スポーツマスターズ関連の会議状況等が報告された。

(3) 強化本部（堀井理事）

アンダーカテゴリーのドイツ遠征でお世話になっているケムニッツの男子U-14チームが来日し、茨城県選抜、埼玉県選抜等とゲームを行う予定であることが報告された。

(4) 事業戦略部（吉田(長)理事）

「FISU World University Championships 2014/3x3 Basketball」に出場する3x3男子U-24日本代表候補選手のセレクションを行う予定であること、10月に行うFIBA 3x3ワールドツアーファイナルについて開催概要の発表を行ったことが報告された。

(5) 国際部（橋本理事）

6月19日に開催された東アジア協会(EABA)の会議概要および7月24日にFIBA ASIAの役員改選を伴う総会、8月28日～29日にFIBAの役員改選を伴う総会が開催予定であることが報告された。

また、深津会長より補足として、FIBA ASIAの第2副会長を務めていた佐室顧問は任期満了で退任となること、EABAの副会長に丸尾副会長が就任予定であること、さらにFIBA ASIAのボードメンバーに加わるよう調整を行っていることが報告された。

(6) エンデバー委員会（佐々木理事）

今年度のジュニアエリートアカデミーの実施要項が報告され、現在調整中となっている開催日程を記載した上で公募を行うことで調整することとした。

(7) 国体委員会（野村理事）

日体協の国体競技運営部会の内容、岩手国体以降の出場チーム数についての検討状況、茨城国体の会

期については、前半の2019年9月28日～10月2日の開催希望で回答を提出したことが報告された。尚、岩手国体以降の出場チーム数については次回理事会に提案する予定であることが報告された。

(8) **WJBL関連** (西井理事)

2013年度のWJBLの事業報告および決算内容が報告された。

(9) **評議員会関連** (深津会長)

6月21日の定時評議員会で要請のあったFIBAボウマン事務総長からの国際制裁に関する条件が記載されたレターについて、評議員に送付するレターの内容が報告された。

(10) **東京オリンピック・パラリンピック関連** (吉田(長)理事)

報道されている競技会場見直しに関しては組織委員会ともコミュニケーションをとり、競技特性、オリンピック以後の利用などを含めて要請を行っていくこと、また、JOCから今年度の助成金について追加要望の提出依頼があり、強化計画に基づいて追加申請を行う予定であることが報告された。

(11) **各種委員会関連** (塚田理事)

競技会委員会、規律・プレイクリーン委員会、エンデバー委員会、3x3推進委員会の委員会構成が報告された。

(12) **男子トップリーグ関連** (深津会長)

2016年シーズンにスタートさせる統一プロリーグについての進捗状況および今後の進め方等が報告された。

以上